

第29回 評議員会議事録

日時 令和7年3月24日（月）
16時00分から17時00分まで

場所 サンセール盛岡

公益財団法人 岩手県スポーツ振興事業団

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団第29回評議員会議事録

日 時 令和7年3月24日(月)
16時00分から17時00分まで
場 所 サンセール盛岡

【出席評議員名】

小笠原 義 文 鎌 田 英 樹 久 慈 竜 也 工 藤 武 彦
高 橋 政 代 谷 藤 節 雄 長 棹 のぞみ 藤 井 玄
水 間 謙 三

【欠席評議員名】

百 濟 和 夫 熊 谷 きえ子 鈴 木 悦 子

【出席監事名】

猿ヶ澤 顕 洋 新 屋 浩 二

【出席理事名】

平 井 省 三 石羽根 恵 子 鈴 木 祐 子 平 野 信 二
嵯 峨 俊 幸 小笠原 隆 行 和 野 亘 大久保 士 郎

【議決事項】

議案第1号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員会副会長選出について
議案第2号 令和7年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について
議案第3号 令和7年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について

【議事の経過】

- | | |
|-----------------|---|
| 1 開 会 | |
| 2 出席評議員数の報告 | 出席評議員数 評議員12名中、出席9名 |
| 3 理事長あいさつ | |
| 4 議事録署名人の選出 | 議事録署名人 工藤武彦評議員、水間謙三評議員 |
| 5 議 事 | |
| 議案第1号
～議案第3号 | 議案第1号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員会副会長選出
について |
| (谷藤節雄評議員) | 鎌田評議員にお願いしたい。 |
| (小笠原義文議長) | 鎌田評議員を推薦する声が上がったがよろしいか。
(異議なしの声あり) |

(小笠原義文議長)

異議はないようなので、鎌田評議員を選出する。

議案第2号 令和7年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について

議案第3号 令和7年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について

質 疑

(小笠原義文議長)

説明事項について意見等ないか。

(高橋政代評議員)

厳しい予算の中、特に県営体育館の老朽化への対応において、綱渡りのような安全管理に感謝している。

昨年のスポーツフェスティバルにおいて、これまでの「ニュースポーツ」から「スポーツレクリエーション」へ呼称を変更してほしいとの要望が事業団からあった。「ニュースポーツ」と「スポーツレクリエーション」では微妙な違いがあると思われるところ、この事業計画書には「ニュースポーツ」と「スポーツレクリエーション」が混在している。事業団的に、この使い分けの基準があるのであれば教えてほしい。

(総務企画課長)

事業団としての明確な基準はない。混在しているところがあるので、改めて整理する。

(水間謙三評議員)

青少年の家が3か所あるところ、施設利用収入が記載してあるのは県北青少年の家のスケート場のみであるが、施設自体の収入というのはないのか。

(総務企画課長)

青少年の家の使用料は県の直接収入になっており、事業団の収入にはならないが、県北青少年の家のスケート場の利用料は事業団の収入になるものである。

(久慈竜也評議員)

約8億円の予算の中で、施設利用料金収益が約8千万円と1割くらいある。また、指定管理料も相当の額がある。公益事業と収益事業の関係があると思われるが、収支相償に問題はないのか。

(総務企画課長)

収益事業として計上してあるのはゴルフ場のみであり、他の事業は公益事業となっており、収支相償はクリアしている。

(久慈竜也評議員)

以前は県営野球場も指定管理を受けていたようであるが、この予算書には含まれていないのか。

(総務企画課長) 当事業団の管理から外れたので含まれていない。

(久慈竜也評議員) 現在の野球場が今後赤字になった場合に、当事業団が受け皿にならざるを得なくなる可能性はあるか？

(総務企画課長) 当事業団に管理が回ってくることは、現時点では無いのではないかとと思われる。

(藤井玄評議員) 建て替え、修繕費の予算確保策等、老朽化対策について教えてほしい。
また、光熱水費が高騰しているが、光熱水費の増加分がこの758万円で足りるものか。

(事務局長) 長寿命化などの老朽化対策については、基本的には施設の設置者である県が計画を立て、各年の予算を確保しながら修繕を行っており、事業団は小規模な修繕を指定管理料の範囲内で行っている。また、建て替え等の施設整備についても県が検討するものであるが、参考までに、昨年県営体育施設のあり方が検討され、当面は当事業団が指定管理を受けている施設は長寿命化対策を講じながら存続することになった。ただし、その報告の中で、将来的に県営体育館と身体障がい者体育館については、機能統合、建て替えも含めた整備を検討していくことになった。

光熱水費については、青少年の家は精算経費となり、不足になった場合は県からもらうことができる。また、体育施設については基本的には一定の見込額を超える場合は事業団の経費から捻出することになるが、県営スケート場のリンクを凍らせるための電気料については精算経費である。

採決

(小笠原義文議長) 議案第2号及び議案第3号は、原案のとおり決定することに異議はないか。

(異議なしの声あり)

(小笠原義文議長) 異議がないので、議案第2号及び議案第3号は、原案のとおり承認することに決定する。

以上で、予定していた議案を終了する。

6 その他

(小笠原義文議長) その他、意見等はないか。

質疑等

(小笠原義文議長) 運動公園について、新聞に土のグラウンドを人工芝にしたらどうかとい

うのが載っていたが、検討はしているか。

(事務局長)

第2グラウンドは、今のところ計画されていない。

(小笠原義文議長)

スポーツ医科学センターの建設予定はあるか。

(事務局長)

機能の一部については、スケート場の2階に県の職員が駐在して対応しているところであり、先程お話しした県営体育施設のあり方の中で、スポーツ医科学センターの整備が必要だという議論がなされているものの、具体的には今後検討が重ねられるようである。

(高橋政代評議員)

昨年のスポーツフェスティバルの際、現在あるサッカー場の人工芝が老朽化しており、非常に芝の状態が悪かった。修繕を検討してほしい。

(施設課長兼運動公園長)

県に改修を依頼している。3億円程度必要とのことであり、将来に向けて実現できるよう県と情報共有していく。

(鎌田英樹評議員)

運動公園内にある2kmのランニングコースである黄色の線が薄れていた。線を引き直してほしい。

(施設課長兼運動公園長)

ヘルスコースは数本あり、今年度は緑のラインを補修した。順次補修を進めていくので御了承いただきたい。

(水間謙三評議員)

県営武道館のトイレをウオシュレット付き洋式トイレにできないか。

(武道館長)

各道場にトイレがあり、ウオシュレット付き洋式のほか、和式もある。袴着用の場合に和式の方が良いということもあり和式を残した経緯がある。トイレの改修は県で対応することになるが、今後改築工事が入るような場合はトイレ全体を含めて再検討する必要もあるかと思う。

7 閉 会

(小笠原義文議長)

これにて、評議員会を閉じる。

以上で会議を終了する。